

# ふじえだ ひと つながり

藤枝市

We love soccer,  
and live here.



サッカーと、  
時間を刻む。  
とき

藤枝市勢要覧

平成29年2月発行

発行：藤枝市

〒426-8722 静岡県藤枝市岡出山一丁目11番1号

Tel:054-643-3111 Fax:054-643-3604

ホームページ	<a href="http://www.city.fujieda.shizuoka.jp/">http://www.city.fujieda.shizuoka.jp/</a>
メールアドレス	<a href="mailto:info@city.fujieda.shizuoka.jp">info@city.fujieda.shizuoka.jp</a>
フェイスブック	<a href="https://www.facebook.com/fujiedacity">https://www.facebook.com/fujiedacity</a>
ツイッター	<a href="https://twitter.com/Fujieda_City">https://twitter.com/Fujieda_City</a>



本紙は植物油インキで  
印刷しています。



All residents of Fujieda are connected by a shared love of community. We support one another in a big circle that gives shape to the delightful, vibrant city of Fujieda. This outline presents the hope and trust born from connections between people, and through the story of individual residents, introduces you to the city of Fujieda.

藤枝市長  
北村正平



いつもと変わらない、当たり前だけど  
かけがえのない日常を楽しめる、まち。  
ここに暮らすひとりひとりの  
想いがつながって、積み重なって、  
すてきなまちをつくっています。  
人と人がつながって、ひとつながり。  
いくつもの糸で結ばれた想いが  
大きなひとつの輪になって藤枝を支えています。  
豊かで活力ある人々を通して、  
まちの姿をご紹介します。

人と人、人と想いが、  
「ひとつながり」に。

いきいきと暮らす人の想い、  
まちの物語をつむいでいきます。



## Contents

プロローグ .....	1
ほどよく、都会。ほどよく、田舎。 .....	3
安心の医療・暮らしを守る .....	5
笑顔の子育て・心育む教育 .....	7
躍進する企業・女性としごと .....	9
まちづくり観光・便利なまち .....	11
健康づくり・生きがいつくり .....	13
サッカー王国ふじえだ .....	15
ふじえだ花回廊 .....	17
これからの藤枝茶 .....	19
スポーツ・体験・観光・自然 .....	21
行事・祭り・文化・歴史 .....	23
ふじえだコレクション .....	25
みんなの声 .....	27
藤枝市の概要 .....	29





行きたいところにいつでも行けるアクセスの良さ、  
手を伸ばせばなんでもそろそろ豊かなまち。  
シンプルで機能的な暮らしが、ここにはあります。  
にぎわいにあふれた元気なまちです。

# 都会 ほどよく



温泉でのんびり  
リラックス。  
体験施設も充実！

その土地ならではの  
おいしい味覚が  
いっぱい！

キャンプ場やグラススキー場で  
思いっきり自然を満喫！

整備されたハイキングコースを行けば  
富士山や志太平野を見渡せる絶景が広がる！

新東名インターチェンジもあり  
遠方から車でのアクセスが抜群！

にぎわいあふれる JR 藤枝駅周辺には、  
国際観光ホテルやフィットネスクラブも。  
富士山静岡空港のほか、渋谷とつなぐバスも走る！

## ほどよく、都会。ほどよく、田舎。

Half city, half country—Fujieda represents the best of both worlds, with urban conveniences from daily necessities to access to major destinations as well as the rural charms of lush nature. Fujieda is a comfortable, rewarding place to live midway between city and country.

都会の便利！と、自然の心地いい！ がすぐ隣にあるまち 藤枝。  
都会と田舎がゆるやかにつながれた、魅力的なまちです。

広がる青空。広がる田園。  
心豊かな田舎暮らしが広がる！



芝生が広がり、  
親子でのびのび遊べる  
公園が充実。  
駅周辺のいいの場。



おいしい  
飲食店がたくさん！



昼はオシャレにランチ  
夜は居酒屋でだんらん。



藤枝の冬を彩るイルミネーション  
駅周辺が幻想的な世界に。



おいしい食・オシャレな雑貨がそろう  
マルシェや親子で楽しめるイベントが  
たくさん！

駅近くの商業施設には  
図書館や映画館もある！



# 田舎 ほどよく

緑の山々が包み込むように広がる自然豊かな風景。  
青空に向かって深呼吸をすれば、  
心がふっと解き放たれるように感じます。  
温暖な気候は暮らしやすく、  
水も風もやさしいまちです。







暮らしを守る

犯罪のない安心  
して暮らせるまちへ

# 次世代へつなぐ 健やかな暮らし

力を合わせてまちを見守る防犯パトロール。  
地域・学校・警察が連携し、  
安全なまちづくりに貢献しています。

藤枝駅を中心とした商店街  
地域と市西部の農業振興地域  
からなる青島地区には、市民  
の約29%が居住しています。  
ここで活動する青島地区防犯  
まちづくり推進協議会は、地  
域にある52の団体からなり、  
約300人が加盟。自転車盗  
難防止のための「カギかけ」  
の徹底指導や、年金支給日に  
は金融機関で振り込め詐欺防  
止の呼び掛けなどを行ってい  
ます。

また、警察庁から子どもを  
犯罪から守るための環境づく  
り支援モデル事業に選ばれ、  
通学路や公園に「見守りカメ  
ラ」を25台設置。協議会が管  
理者となり管理・運営を行っ  
ています。犯罪を未然に防ぐ、  
抑止力の効果も期待できます。  
会員はすべてボランティア  
での参加。自分たちのまち  
を、住みやすく魅力のあるま  
ちにしたいという想いでつな  
がり、積極的に活動していま  
す。緑色のビブスを着用し目

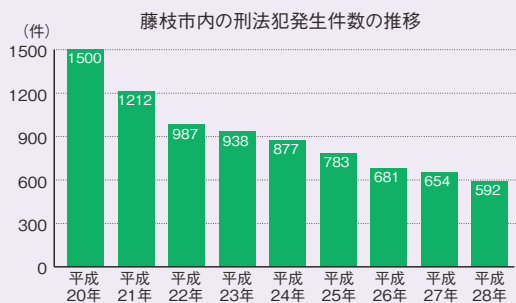


立つ姿でパトロールをするこ  
とで、「このまちはやりにく  
い」と犯罪者に思いとどまら  
せると同時に、若者の非行に  
も目を行き届かせます。「子  
どもたちに上から目線で説教  
してもダメ。大人がちゃんと  
見守っているぞと知らせるだ  
けでいい」「子どもは地域ぐ  
るみで育てるもの」と口々に  
温かい言葉が聞こえます。「5  
年10年とずっと引き継いでい  
きたい活動だから、次の世代  
にも期待していますよ」。

All 10 districts of Fujieda have voluntary crime prevention groups led by the residents to watch over and protect the community. The Aojima District Anti-Crime Community Promotion Council is one such group. Volunteers coordinate with schools and police to organize public awareness campaigns and patrols toward warding off offenders and ensuring the community is safe.

青島地区防犯まちづくり推進協議会  
左から副会長 吉野泰史さん  
副会長 西村 保さん  
副会長 大石英行さん

まちが活性化し人が集まるようになれば、どうしても犯罪は増えてしまうもの。でもこの活動を続けることで、犯罪件数が減ってきています。



藤枝市では、市内全10地区に自主防犯組織が存在し、地域で見守る体制が整っています。また、子どもが危険な目に遭いそうなときに、駆け込んで助けを求めることができる「子どもを守る110番の家」が市内に870軒。不審者情報や街頭犯罪の発生情報を伝えるメール配信サービス「藤枝バス&シュートメール」もあります。

取り組みの成果もあり、刑法犯の件数が年々減少。平成26年中の静岡県内10万人以上の市区の人口千人当たりの犯罪発生率は、県内で最も低い数値となっています。

静岡県内で  
トップクラスの  
安全・安心

安心の医療

人に寄り添う  
医療へ



市民の健康を守る藤枝市立総合病院では、高度な「救急医療」と「がん診療」を提供。退院後の暮らしを見守る体制づくりも進めています。

藤枝市立総合病院には「救急センター」があり、突然の事故や病気にすぐに対応できる高度な救急医療を提供しています。

2人に1人がかかるといわれるがんについても、「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受け、診察から放射線療法・化学療法（抗がん剤）・手術を組み合わせた治療を行い、患者さんにもご家族にも安心な「がんに強い病院」となっています。



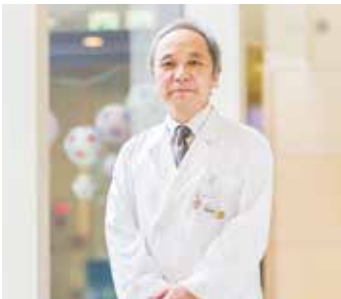
藤枝市民は健康に対する意識が高く、例えば、大腸がん検診の受診率は全国平均の約2倍。「早期発見が可能になり治療効果もあがります。地域のかかりつけ医とのネットワークにより、完治後もずっと見守り続け、随時、適切なフォローアップが行えるメリットもあります」と院長。

一方、今後の医療について「ただ治すだけでなく、退院後の生活を支える制度の構築を医師会の皆さんと進めています。また、10年先の医療を見据え、若い医師を育てていくことも大切なことです。インターンシップで勤務した若い学生たちが、医師として戻ってきてくれる人が多いのも当院の自慢です。中学生や高校生が当院での職場見学を終え『医師を、看護師を目指します！』と言ってくれるのも、頼もしく感じます」と語る院長の笑顔に、未来へ向けた取り組みの充実を感じます。

Fujieda is a health-conscious city where more residents than the national average receive screenings for colon, lung, breast, and all other forms of cancer. Acclaimed for its high success rate of cancer treatment, Fujieda Municipal General Hospital also has an emergency center equipped to provide advanced medical care. Fujieda residents have a sense of security knowing that reliable health services are nearby.

藤枝市立総合病院  
中村利夫院長

医師、技師、看護師などさまざまな専門職のスタッフが尊重し合い、チームで医療にあたります。目的意識を持ったスタッフが力を発揮することで、よりよい病院にしていきたいです。



最新鋭の医療とともに、  
医療の枠を超えた  
安心を提供

病院に入院する皆さんは、誰しも不安を抱えています。藤枝市立総合病院では、その不安を安心に変えるための支援も行っています。

入院中のきめ細やかな対応はもちろん、退院後の生活も安心して送れるように、患者さんが退院後どのような生活に戻りたいかをしっかりと把握。それを実現するための支援を、地域にあるさまざまな機関と連携して提供しています。医療と地域をつなぐことで、その人に合った切れ目のない支援が可能となります。







## 心育む教育

ふれあい成長する  
子どもたち

# のびのび元気に すくすくと育つ環境づくり

まず気付いてほしいのは  
コミュニケーションの楽しさと大切さ。  
英語を使って成長していく子どもたちをサポート。

平成23年から藤枝でALT（外国語指導助手）として勤務し、今では藤枝市内のALTを統括するスーパーバイザー（FCA）としての役割を担っているトレバーさん。平成28年度、市内では、13人のALTが活動しています。市独自の取り組みとして、小・中学校の接続を大切にし小学校6年生と中学校1年生の児童・生徒を同じALTが指導するなど、子どもたちに寄り添った英語教育を実施。「中学校卒業時には英語で簡単な日常会話ができることを目指しています。英語はあくまで道具。どんな会話をするのか、何を伝えたいかに重点を置いた指導をしていきたい。そのため小学校では、英語を学ぶことよりコミュニケーション能力を身に付けることを重視しています。人の話をちゃんと聞いて、それにリアクションができること。自分の思いを話せること。豊かな

感情を育てることも大切にしています。」  
英語を使うイベントも企画。国際クッキングやサマーキャンプ、パーベキューなど、体験の中で楽しく学べる工夫を用意しています。「もじもじしていた子どもが自分から手を挙げるようになるのを見ると、うれいですよね」と、トレバーさん。「単に英語を学ぶだけではなく、多様な文化や人と触れ合うことで、人としても成長できるとてもよい機会」だと、ALTと行う英語教育の大切さを語ってくれました。



Education in Fujieda encourages children to be thinkers. English is a key area of focus, and the city employs a large number of assistant language teachers (ALT). They guide the children to learn that English is only a tool, and the important thing is to find their voice and express themselves to others. Communicating with people from diverse cultures helps to nurture the heart.

藤枝市教育委員会 教育政策課  
ALT（FCA）  
トレバー ヒルセンデガーさん

英語で、子どもたち同士が会話をできるようにしたい。何かを問いかけるためには、相手に興味を持たなければいけない。相手を思いやる心こそが、コミュニケーションの核になるものだから。



## 笑顔の子育て

ママに子どもに  
やさしい環境



地域ぐるみで子どもを育てる取り組み  
サポートしてくれる「目」と「手」があるから  
ママもののびのび子育てができます。

手書きのかわいい文字で楽しく家族の様子を伝えてくれる「お母さん業界新聞 Rainbow ふじえだ版」。全国紙のお母さん業界新聞の静岡版に挟み込まれているのがふじえだ版で、その取材から発行まですべてを担当する編集長が、2人を子育て中のママ、花島さんです。

神奈川県出身の花島さんは結婚後静岡県へ。藤枝の「居心地の良さ」に触れ、マイホームを建てて住むようになりました。初めての子育てで不安ばかりだった花島さんを助け



てくれたのは、青島北地区交流センター内にある子育て支援センター「にこにこ広場」の存在。「職員さんは周りに知人がいない私にとって、藤枝のお母さんです。子どものことだけでなく私にも気を配り声を掛けてくれる。『頑張っているわね』なんて言われるとうれしくて、迷ってばかりの子育てにも自信が持てるようになりました。」

市主催の子育て講座も支援センターのポスター掲示で知り参加。「主婦の社会復帰や、子育てのお金のことも教えてもらい、託児付きで充実していました」。新聞の編集長になったのも、セミナーで知り合ったママ友達とのつながりから。「主婦の仕事も発信することで誰かの役に立てる、それがうれしい」とやりがいを話してくれました。「夢は親子サロンを開くこと。温かく迎えてくれた藤枝への恩返しをしていきたいです」。

Fujieda attracts many new residents in the parenting generation, and the laughter of children echoes throughout the city. Community parenting support centers provide a safe place for families to play and for parents to consult about childrearing concerns. Through various initiatives, the centers work to create an environment friendly to moms, dads, and kids.

お母さん業界新聞 Rainbow ふじえだ版  
編集長  
花島由香理さん

自然豊かな藤枝でのびのび子育て。周りの人が子どもに声を掛けてくれる温かで穏やかな環境。たくさんの人に、この魅力に気付いてもらいたいですね。



ライフスタイルに  
合った子育てを  
実現できるまち

親子で遊んだり、子育ての悩みを相談したりできる「子育て支援センター」。市内には13のセンターがあり、保育士が常駐し安心して子育てを楽しむ場を提供しています。平成28年には、室内で思いっきり体を動かすことができる「れんげじスマイルホール」がオープン。いずれも、無料で気軽に使えることから、多くの親子連れでにぎわいます。保育の場も充実しています。地域型保育事業所の数は静岡県内トップ（平成28年4月現在）。計画に沿って、保育所や認定こども園、地域型保育事業所を整備し、待機児童ゼロを目指しています。全市立小学校の敷地内には「放課後児童クラブ」を設置し、子どもたちに安心できる遊び・生活の場を提供しています。



新たな発想で、  
世界に羽ばたけ！

自分で考え創造する力や課題に向き合い解決する力を養うことで、将来、世界で活躍するような人材を育てることを目的に藤枝市が取り組んでいるのが、科学やICT（情報通信技術）、ロボットを活用した教育です。その一つが、人型ロボット「Pepper」を使った、プログラミング教育。平成29年度からは、すべての市立小・中学校にPepperを配置、その数は全部で161台。実際にプログラミングを行い、その仕組みを学びます。







女性としごと

見つけよう  
自分らしい働き方

自宅ではベビーマッサージ教室を開く永谷さん。永谷さんがベビーマッサージに出会ったのは、子育て中のことです。その効果を実感するとともに、在宅での仕事ならもっと子育てを楽しめると思い立ち資格を取得。起業するならと勧められて、先輩起業家がセミナーを行うなど、起業を目指すチャレンジャーを応援する取り組み「シダビズ」に参加しました。「背中を押されて応募した第1回志太ビジネスプランングランプリで、特別賞を受賞！となると弱音をはいてはいられませんが」と、当時の決意をユーモアを交えて話してくれます。

「教室に通ってくるママたちから、子どもを育てるために望まない仕事でも就かなければいけないと聞き、雇われるのではなく自分に合った働き方を創造することを考えてほしいという思いが強くなりました。自分の経験をもとに相談に乗ることもあります」。

Fujieda offers an attractive environment where women can live up to their potential. The city even organizes programs to support women who choose to launch and run their own business. A group of women entrepreneurs hosts the Fujikosai Festival, a huge success that continues to attract new members.

ベビーマッサージ教室 とういんく 代表  
永谷亜季子さん

家族の支えも大きな原動力。協力したくなるように家族をうまくのせるのも上手な起業のコツかもしれません。目標は海外への家族旅行。実現には、まだもう少し掛かりそうです。



# 新しいチャレンジに満ちた 働きがいのある仕事

一人二人が輝く社会への  
取り組み

雇われる以外の働き方もあります。  
チャンスは自分でつかむもの、  
志を持つ仲間との出会いが励みになります。

躍進する企業

出会いから  
生まれる新発想



アイデアが技術力を高め、  
人とのつながりが新しい産業をつくる。  
誰もやっていないことをやる楽しさを  
モチベーションに。

「ふじえだの海ぶどう」。  
海のない藤枝でなぜ？それは、  
宮古島と駿河湾の海洋深層  
水結び付け養成するシステ  
ムを藤枝で開発したから。岡  
村さんのアイデアと技術、人  
と人、人々との結び付ける  
ネットワークから誕生した  
藤枝発の新ブランドです。宮  
古島市と藤枝市が、農商工連  
携でつながったことを発端に、  
両市は友好都市提携を結び災  
害時の支援も約束しています。  
「もともと、西光エンジン



アリングは焙煎や乾燥得意  
とする企業。特許も数多く取  
得していますが、大きくなる  
ことより、最先端の技術を持  
つ頭脳的小集団として、地域  
の未来を開く「地域の未来エ  
ンジン」になることを目指し  
てきました」と岡村さん。  
食品などを、添加物を使わ  
ず成分を損なうことなく乾燥  
できる「マイクロ波減圧乾燥  
機」を活用して、藤枝産農産  
物の新たな価値を創出。市の  
中小企業を支援する取り組み  
「藤枝エコノミックガーデニ  
ング」と連携したものづくり  
にも取り組み、ヤーコン茶や  
フレバリー茶、皮ごと食べら  
れるミカンなどの製造・販売  
を手掛け、全国から注目を集  
めています。「人と人がつな  
がるとまた新しい発想がでて  
くる。それをどう生かすか考  
えることが楽しい」。岡村さ  
んは、さらなるチャレンジに  
向かってアイデアの種を育成  
中です。

Fujieda pours its energies into creating a foundation for growth for small and medium enterprises (SME). The city supports efforts to make use of community resources and develop new industries. Many initiatives involve linking technologies with ideas to conceive businesses unique to Fujieda.

西光エンジニアリング株式会社  
代表取締役  
岡村邦康さん

宮古島との縁が深まり「(一社)藤枝と宮古島の交流を進める会」を設立。スポーツや文化を通じた交流も進めています。子どもたちにどんな体験を提供したら喜ぶかなと、考えるのも楽しいですね。



藤枝エコノミック  
ガーデニングで  
地域経済を元気に

地域の雇用と経済を支える  
ために、地元中小企業の成長  
を支える環境づくりはとても  
大切。地域経済を「庭」、地  
元中小企業を「植物」に見立  
て、地域という土壌を生かし  
て、地域経済を元気にする取  
り組みが「藤枝エコノミック  
ガーデニング」です。地域の  
資源を最大限活用し、産官学  
金が一体となって、中小企業  
に必要な情報の提供や支援を  
行っています。

また、幅広いビジネス相談  
などに対応する「エフドア」  
を、ビジネス情報豊富な市  
立駅南図書館内に設置。起業・  
創業から中小企業の新事業展  
開などに関する相談に、専門  
家とスタッフが無料で対応し  
ています。



ライフスタイルに  
合わせた起業支援

働く女性は、家庭の事情を  
優先し仕事を辞めてしまっ  
ことも。藤枝市では、そうした  
女性が再び仕事に就く際に、  
今までの経験や資格を生かし  
て起業をし、ライフスタイル  
に合わせて働くことも、選択  
肢の一つであることを提案。  
それに向けた支援を行っています。

自分のライフプランに合わ  
せた起業のノウハウを、女性  
目線で段階的に学べるセミ  
ナーを開催。そこから得た知  
識などを生かし、実際に起業  
につなげたという、女性起業  
家も誕生しています。起業  
という難しく聞こえます  
が、実は自分らしい働き方を  
実現する一つの手段。藤枝で  
は、キラリ輝く多くの女性が  
活躍しています。







便利なまち  
自分らしい  
暮らしを実現

# つながるフィールド 広がる未来 魅力を新発見！

豊かな緑と文化が香る藤枝は、  
便利でおだやか。  
マイペースな私にぴったりのまち。

短大時代を除いて、ずっと藤枝で暮らしている久保さん。実家、駅前のマンション、現在の戸建てと、地域は変わりましたが、夫とも藤枝出身で藤枝以外に住むことは考えられないと言います。「夫が自然に囲まれて育ったこともあり、郊外で暮らしています。冬は暖かく、夏は田を渡る風が涼しく気持ちいいです。ペランダにカエルが飛び込んでくることがあって、毎日が楽しいですね」。

新東名や東名スマートICの開通で車での移動が飛躍的に便利になり、空港も近い。新幹線を利用すれば、大抵の都市に日帰りで行くことができます。利便性も魅力の一つです。また、藤枝駅周辺が整備されます。ますます快適に。「豊かな自然を満喫しながら、スーパにも病院にもすぐ出掛けられる。藤枝はどよいサイズのまちだからいいです」と久保さん。「そして、隣近所と適切な

距離があり、つかず離れずの関係で穏やかに暮らしている。ちゃんとあいさつはするし、地域の人は子どもに声を掛けてくれるけど、踏み込んでこない優しいさを感じます。その人のペースに合わせて暮らしている、ゆるやかな関係が心地いいのかな」。

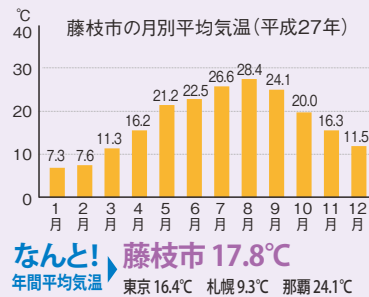
久保さんは結婚後、社会活動にも興味を持ち、市が運営する女性のためのポータルサイトの運営にも参加。たくさんの人に藤枝の魅力を広め知ってもらおうと、活動に取り組んでいます。



“The beauty of Fujieda is that everything is nearby, both the refreshing nature and the supermarkets and hospitals we need in daily life.” The moderate size of the city translates into comfort, convenience, and a sense of ease that attracts a growing number of newcomers in the parenting generation. With just the right distance between neighborhoods, residents find they can live life at their own pace.

藤枝在住 41 年  
久保諭美さん

以前は医療事務をしていました。さまざまな人の悩みに接することが多く、自分の経験が役に立てばと、女性を支援する取り組み「ふじえーる」「Woman With Project」に参加。無理のない範囲で活動しています。



さらに、温暖な気候も藤枝の魅力。特に、冬が暖かく雪もほとんど降らないため、暖房費の節約にもつながります。

静岡県のほぼ中央に位置する藤枝市。その周りに魅力的なまちが多くあるのも魅力の一つです。東隣は、県庁所在地として機能が集約され、多くの商業施設などでにぎわう静岡市。南隣は、マグロやカツオなどの水揚げ量が全国トップクラスで、おいしい海産物がいっぱい焼津市。西隣は、雄大な大井川とそれに沿うように走るS1、そして美しい茶園景観が広がる島田市。いずれの都市へのアクセスも良く、この地域一帯が藤枝市民の生活圏となっています。

広がる生活圏！  
藤枝の枠を越えて、  
いろいろなことが



魅力的な地域資源を生かして、さまざまな催事が開催される藤枝には、年間を通して多くの観光客が訪れます。近年では、交通網の充実もあり、外国人観光客も飛躍的に増加しています。

藤枝を便利に楽しめるツールも充実。多言語に対応する観光ホームページ「藤枝トリップ」をはじめ、藤枝駅周辺の飲食店やホテルなど観光に必要な情報を掲載した多言語観光ガイドブック＆スマートフォンアプリなど、訪れる人も市民もうれしいツールがたくさん。Wi-Fi環境の整備にも力を入れています。

「おもてなし」の心で  
歓迎します

まちづくり観光  
地域に  
磨きをかける



ファンが増えれば活性化にもつながる。まさにwin-winの仕組みです。藤枝名産のお茶やしいたけを味わう体験、アート、スポーツ、鉄道巡りなど、平成28年には102のプログラムに2万6千人が参加。おんぱくが感動の場となり、地域に求心力を生み出しています。

「おんぱくの目的はイベントの開催ではなく、持続可能な仕組みをつくること。地域の可能性に気付くとともに、ここから『地域ブランド』を再認識しようという活動です」と渡村さん。この取り組みが認められ平成28年には「ふじのくにしずおか観光大賞」を受賞しました。「おんぱくを始めたのは、生活者として、やっぱり楽しく暮らせるまちがいいからです。住む人の意識が変わることで、地域をフィールドにグローバルな問題も解決していけると期待しています」。

Fujieda Onpaku is an initiative in which residents organize interactive tourism programs highlighting the characteristics of their community. In 2016, 102 programs attracted 26,000 participants. Designed to take a fresh look at the community and promote its attractions, the initiative is a win-win-win approach rewarding for the program organizers, the participants, and the community.

一般社団法人 SACLABO 代表  
渡村マイさん

蓮華寺池公園が大好き。まちなかにこんなすてきな場所があるので、この魅力をもっと生かしている仕組みを考え中。私の活動の理由はシンプル、楽しく暮らせるまちがいいということですね。







生きがいづくり

社会と交わる、  
人と交わる

長寿社会が進む中、健康的で生きがいのある生活を送るために、ふじえた市民活動支援センターでは市民活動に参加しやすい環境づくりを進めています。支援センターは、社会貢献活動に興味がある人に最適な団体を紹介したり、新たな団体づくりのためのアドバイスを行ったりするなど、市民活動の拠点として機能。多数の団体が登録し、福祉や子育て、まちづくりなどさまざまな分野で活動を行っています。

なかでも、生きがいをもって暮らすことを「ディーセントライフ」と名付け、生涯、地域の一員として社会と関わりを持って暮らしていくための活動支援に積極的に取り組んでいます。

支援センターの理事である岡村さんは、平成25年、ディーセントライフ事業の一つ「農業体験プログラム」の発足時から代表を務め、40人ほどの会員で葉梨地区にある260

坪の耕作放棄地で野菜を作る活動に携わっています。参加者はみんな農業未経験者。農家の人からの指導や幼稚園児を招待しての収穫体験などにより地域とのつながりも生まれ、耕作放棄地の問題も解決できると注目を集めています。「活動を通して仲間ができて、集まるのが楽しくなる。体を動かすことで健康も維持できる。趣味がない、何をやっていいのかわからないという方、大歓迎！このプログラムを市民活動への興味を深めるきっかけにしてみたいですね」。



Fujieda names motivated and rewarding lifestyles the “decent life,” and organizes programs to realize this ideal. One of them is the interactive farming program. Groups of residents gather in fields that have fallen into disuse and share a fun time growing vegetables. The activity helps maintain health in both body and mind.

ふじえた市民活動支援センター 理事  
岡村愛智さん

農業体験の楽しみは収穫。じゃがいも、にんじん、だいこん、ブロッコリーなどなど。手を掛けただけおいしくなる野菜作りは成果が分かりやすく、大きなやりがいになっています。



# いつまでも元気に 笑顔でいきいき暮らす

毎日を笑顔で過ごすための  
取り組み



歩くことには、介護予防や認知症予防の効果も認められています。「いつまでも元気に暮らしたいなら体を整えること。歩く」という誰もが参加しやすい活動から始めてみませんか」。ノルディックウォーキングを広めることが前澤さんのライフワーク。目的に向かい充実した生活を送っています。

Fujieda organizes various health promotion events themed around walking, which residents find is easy to join. The latest focus area is Nordic walking. Sessions in Rengeji-ike Park take participants through the natural environment and help them relax. Everyone is welcome to join us and walk your way to a lifetime of health.

ノルディックウォーキングクラブ「爽」  
代表  
前澤康代さん

歩くことだけにとどまらず、体の仕組みにも興味を湧き、資格を取得。ノルディックウォーキングを広めることは私のライフワークです。そのためにも、まだまだ学んで、成長していきたいです。



藤枝市民は健康志向？  
楽しく、お得に、  
健康づくり

歩くことは生活の基本。どこでも気軽にできるライフステージスポーツのすすめ。

藤枝市では、どこでも気軽に行える「歩くこと」に重点を置き、市民が参加しやすいさまざまな健康づくりの取り組みを展開。「ふじえた健康スポット20選」を巡るウォーキングイベントの開催のほか、歩くことを楽しく継続できる、スマートフォンアプリ「あるくら」も開発しました。また、運動効率の優れた、2本のポールを使って歩くノルディックウォーキングも推奨。スポーツイベントでも体験会

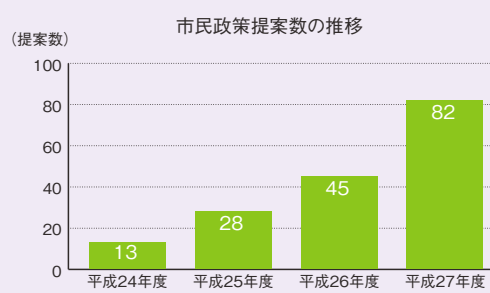


が行われています。

蓮華寺池公園で定期的にノルディックウォーキングを行っているのが、公認資格を持つ前澤さんのグループです。前澤さん自身もクラブの一員として参加。「教えるよりも見守る立場」で、ともにノルディックウォーキングを楽しんでいます。正しい姿勢・歩き方を身に付ければ体力が付き、仲間と話しながら自然の中を歩くことで気持ちもリフレッシュ。蓮華寺池公園内の道の勾配が、ほどよい運動効果を生むといえます。

藤枝市における平成27年度の健康診断の受診率は49.6%で、静岡県内の人口10万人以上の市の中で1位。平成26年度のがん検診でも、すべてで全国平均と比べて受診率が高くなっています。さらに、75歳以上の市民の年間一人当たりの医療費は約74万円で、全国平均の93万円より19万円も少ないという結果に。健康志向が高く、元気なお年寄りが多いことが分かります。

また、楽しみながら健康にいい行動に取り組める仕組みも充実。歩いた距離により地図上で仮想の旅が楽しめる「バーチャル東海道の旅」や、健康づくりにつながる行動でポイントを貯め、お得なサービスが受けられる「ふじえた健康マイレージ」など、その多様な取り組みが全国から注目を集めています。



福祉や子育てなど、さまざまな分野で活躍する市民活動団体が数多く存在する藤枝市では、市とそれらの団体とが手を取り合い事業を実施する「協働」が盛んに行われています。また、市民の皆さんの知恵やアイデアを市政に反映する提案制度に寄せられる提案件数は年々増加。豊かな発想による提案をカタチにすることで、市民サービスの向上につながっています。市民の皆さんの想いが市政につながる、参加と協働のまちづくり。オール藤枝で築く藤枝のまちは、活気にあふれ元気です。

想いがつながる、  
協働の  
まちづくり



ふじえだ ひとつつながり

未来につながるプライド

# サッカー王国 ふじえだ

The history of football in Fujieda dates back to 1924, when Shida Middle School (currently Fujieda Higashi High School) named it the official school sport. The city has since produced countless talented players including Makoto Hasebe, currently captain of the Japan national football team. Now a well-known "city of football," Fujieda is home to leagues for children to seniors and for women.

藤枝市出身  
長谷部誠選手

**長谷部誠選手を  
育てたまち 藤枝**

藤枝東高校の藤色のユニフォームは、藤枝サッカー繁栄の象徴であり、誇りです。そもそも藤枝とサッカーを結びつけたのは藤枝東高校（当時は志太中学校）に赴任した1人の先生から。それから約1世紀、まかれた種が時を経て大きく育ち、藤枝のサッカー文化を豊かに実らせています。

サッカー日本代表でキャプテンを務める長谷部誠選手は、藤枝市生まれ。少年時代からサッカーに親しみ藤枝東高校へ進みます。卒業後、Jリーグや海外で活躍するとともに、日本代表になくはならないキャプテンとして揺るぎない信頼を獲得しています。長谷部選手のサッカー人生の基点となった藤枝。優れた指導者やレベルの高い仲間と過ごした少年時代に身に付けたものが、大きく飛躍する糧となっていることでしょう。

長谷部選手は「高校時代、まちでおじさんたちに『あのプレーは何だ』と説教された」と思い出を語っています。サッカーを愛し、楽しむ文化が、藤枝にしっかりと根付いていることがよく分かる逸話です。

大正13年。  
意志を貫いた  
「校技・蹴球」。



藤枝サッカーの歴史は、大正13年に始まります。志太中学校（現 藤枝東高校）の開校にあたり、校長として赴任してきた錦織兵三郎が、蹴球（サッカー）を校技としたのが最初。今では、皆が王国の誇りを感じているサッカーですが、当時は野球全盛時代で、多くの反対があったと記録に残っています。それでも意志を貫き、全生徒に蹴球をさせたことが藤枝サッカーの原点になりました。大正15年に創設された蹴球部はその後、国体や高校サッカー選手権などの全国大会で優勝を重ね、サッカーのまち藤枝の名を確固たるものにしていきました。

プロとして活躍する  
多くの選手たち。  
プロを目指す子どもたちが  
刺激しあう場所。

藤枝ゆかりのプロ選手は数多く、日本代表にもたくさん。多くの選手が選出されてきました。誰もが知る中山雅史選手、名波浩さん、長谷部誠選手は子どもたちの憧れの的で、大きな目標になっています。また、藤枝を拠点に戦うJ3の藤枝MYFCもあり、間近でプロサッカーチームの試合を見る機会にも恵まれています。

身近に憧れの選手がいるサッカー王国・藤枝で育つ子どもたちは、目的意識も高く、恵まれた環境のなかで互いに切磋琢磨しながら育っていきます。そして、まち全体が子どもたちを応援し、その成長を見守っています。王国藤枝の誇りを胸に、より高いステージでの活躍に期待しています。



キッズからシニアまで、  
男子も女子もあらゆる人が楽しむ  
「サッカーのまち」。

サッカーのまちなのに女子チームがないのは寂しいと、昭和53年、主婦たちがチームを結成してその歴史がスタートした藤枝の女子サッカー。今では、なでしこリーグ参入を目指すチームがあるなど、盛んになってきました。特に高校年代では、藤枝順心高校が全国制覇を成し遂げるなど、日本中にその名を轟かせています。なでしこジャパンに選出される選手もあり、サッカー王国藤枝の中で、女



子サッカーの存在は大きな役割を担っています。また、サッカーを楽しむ年代もさまざま。小学生が所属するサッカーチームも数多くあり、一方でまだまだ現役という40歳以上のプレーヤーが集まったシニアのチームも結成されています。60歳代のシニアリーグもあり、健康寿命が伸びる社会において、生涯楽しめるスポーツとしてのサッカーにも、注目が集まっています。

「蹴球都市 藤枝」をタグライン  
とロゴマークでPR



サッカーを核としたまちづくりを進める藤枝市では、「サッカーと時間を刻む。」というタグラインを作成。その文字や「蹴球都市」のロゴを刻んだ装飾シールやフラッグなどを、藤枝駅や藤枝総合運動公園に飾り付け、サッカーのまち藤枝を演出しています。

藤枝から発信！  
全国PK選手権大会



毎年8月に藤枝総合運動公園で行っている、PK日本一を決める大会「全国PK選手権大会」。全国のみならず時には海外からの参加もある人気の大会です。年齢別の7つのコースに約500チームがエントリー。藤枝の夏を彩る熱いイベントです。





手を掛けただけ、  
花は美しさで応えてくれます。  
住むまちをもっとキレイに！

藤枝市内には地区ごとの花の会が約30あり、370人ほどの会員がそれぞれ得意分野を生かした活動を行っています。地区ごとの活動をまとめているのが「藤枝市花の会」です。

藤枝市花の会で副会長を務める榎原さん。地区において所属する駅北花の会では、藤枝駅北口ロータリーの花壇やハンギングバスケットの管理を担当しています。



藤枝市花の会 副会長  
榎原ともこさん



花回廊マップ

ふじえだ ひとつながり  
未来へつながる物語

# 移ろいゆく 四季を彩る 花のまち



いつも  
どこでも  
どんなときも  
花でつながる

緑豊かな里山から、その先に広がる平野まで、起伏に富んだ地形と豊かな自然に恵まれた藤枝市は、温暖な気候と清らかな水が育てた花や緑で一年中彩られる美しいまちです。市の名称に花の名があるように、いつでも私たちの心の中にある花。それは、住む人の心に潤いを与えると同時に、訪れる人を迎えるおもてなしの象徴でもあります。

いつも、どこでも、どんなときも花でつながるまちを目指し「ふじえだ花回廊」基本構想を策定。まち全体をぐるりと花の回廊に見立てるだけでなく、人と花をつないだ大きな輪を、Flower ship（花でつながるという意の造語）と位置付けました。花によって人と人がつながり、つながった人がまた花を育てていくすてきなまちへ。市民の皆さんと手を取り合い、花と緑にあふれた美しいまちづくりを進めています。

Flora and foliage is abundant in Fujieda year round, and the city promotes community development around flowers that connect people any time, anywhere, and under any circumstances. The Fujieda City Flower Society makes and maintains community flowerbeds and works to enhance the green cityscape. Fujieda is a "city of flowers" where the growers are as beautiful as the blooming plants.





培われてきた伝統を踏まえ  
さらなる未来へ。  
新しい藤枝茶の魅力を  
発信していきます。



ふじえだ ひとつながり  
未来へつながる物語  
伝統と、  
新たな芽吹き。  
これからの藤枝茶

Fujieda is a major producer of green tea since the premodern Edo period (1603–1868). Tealeaf cultivation remains a central industry today, and many residents engage in business ranging from production and processing to distribution. With the benefits of green tea winning renewed recognition around the world, the city promotes green tea from a fresh angle with the aim of establishing the Fujieda-cha brand as the tastiest in Japan.

茶どころ藤枝の歴史をひもとくと、江戸時代には山間部を開墾し茶園が広がり、すでに銘茶の産地として全国に知られていたようです。明治維新のころ、市内茶町という地区には多くの茶商が軒を連ね、大いに茶業が栄えました。これに伴い、山間地を中心として次々に茶園が造られ、生産量は年々増加。藤枝茶は、世界各地へ輸出されていきました。その歴史を受け継ぎ、現代でも茶は藤枝市の重要な産業。生産から流通まで多くの人が藤枝茶を支えています。健康面でも文化的な価値においても茶の人氣が高まり、また、和食の広がりとともに世界が注目するようになってきました。それに応じ、今までの伝統を生かしながら自由な発想を取り入れ、新しい藤枝茶の魅力を発信していきます。

世界が絶賛！

最上級のもてなし茶

「朝比奈玉露」

朝比奈川の清流を囲むように山が連なる岡部町朝比奈地区は良質な茶産地で、室町時代にはすでに茶が生産されていたといえます。山間部の川に沿うように両岸の斜面に造られた茶園は、朝夕川霧に包まれ、茶の産地として最高の条件がそろっています。なかでも玉露の品質の高さには定評があり、品評会で日本一にも輝いています。



玉露は茶園を「こも（粗く織ったむしろ）」で覆い、陽を遮って新芽を育てます。茶葉の光合成を抑えることで旨味を封じ込め、香り高くまろやかな茶が出来上がります。いれるときは、約50度の低めのお湯でじっくり蒸らしてから。丹誠込めて注がれた極上の玉露は、色は金色、甘みと旨味の深い独特の味わいです。ヨーロッパでも、朝比奈玉露は高級茶のブランドとして人気を集めるなど、生産者の努力と情熱が、世界に知れ渡っています。

伝統や歴史に

頼るだけでなく、

新しいお茶の魅力を発信。

藤枝茶の多くは、中山間地域の傾斜の急な茶園で作られます。昼夜の寒暖差が大きく、水はけのよい肥沃な土壌で育まれた藤枝茶は、香り高いお茶として知られてきました。しかし、他産地のブランド化が進み藤枝茶がなかなか目立たなくなってきたことから、生産者・茶商・JA・行政が手を取り合って、藤枝茶の再ブランド化を目標に「日本一美味しい藤枝茶づくり研



究会」を発足させました。まずは、試験茶園での茶作りをスタート。出来上がった荒茶を品評会に出品したところ、高い評価で落札され、その品質の高さが専門家にも認められました。この結果を得て、これから数年を掛けてさらに良質の茶を生産していく決意を新たにしました。お茶に関わるさまざまな分野の人々が一体となって、日本一を目指しています。

おいしい藤枝茶でもてなし

「藤枝ジュニアお茶博士」活躍中！

毎年、小学校4・5年生を対象に、藤枝茶の歴史・茶のいれ方を学ぶ講座を開催し、修了者には「ジュニアお茶博士」の称号を与えています。平成24年に始まった、全国的な組織である日本茶インストラクター協会の志太支部との協働による、藤枝市独自の取り組みで、約200人のお茶博士が誕生しています。

藤まつりなどのイベントで呈茶サービスを行うなど、藤枝茶の広報役として活動しながら、多くの人と触れ合いおもてなしの心を学ぶことで、子



どもたちの成長にもつながる教育的な取り組みでもあります。平成27年には、ジュニアお茶博士を卒業した中学生からなる「藤枝ジュニアお茶大使」も創設。キャリアアップ講座を受講し、お茶に対する意識をさらに高めたお茶大使が活躍中です。藤枝茶の伝統をしっかりと受け継ぎ、その魅力を広く発信してくれる子どもたちの未来に期待が高まります。





# 山も川も私たちのフィールドです。



## 静岡県武道館

バスケットボールの試合にも対応可能な大道場のほか、弓道場や相撲場などを完備。武道だけでなく、フィットネスなどのスポーツ教室も開催され、市民の健康づくりの拠点となっています。



## 瀬戸谷温泉ゆらく

山々の緑と瀬戸川の清流に囲まれた公設民営の日帰り温泉施設。瀬戸谷の自然に触れながら天然温泉にゆったりつかれば、くつろぎのひとときが過ごせます。お食事処や新鮮な地元産野菜の販売所もあり、家族で楽しめます。



## 大茶樹

大久保地区にある、県内最古といわれる樹齢約300年の茶の樹。樹高は約4m、周囲は約30mもあり、足場を組んで茶摘みが行われます。仕上げた茶は「長寿の香り」と名付けられ、高齢者施設などに寄贈されています。



## 手作り体験工房 白ふじの里

地産地消を推進し、安全で安心な農作物を加工販売。工房では、そば打ちや味噌作りなど、地域の特徴を生かした楽しい体験ができます。春には「白ふじ」、秋には「彼岸花」などが楽しめる花の名所でもあります。



## 陶芸センター

瀬戸谷の大自然の中にある陶芸センター。土と触れ合い、心の向くままに作品を作るおもしろさ。絵付けなどが気軽に楽しめる陶芸体験のほか、本格的に作品作りができる陶芸教室も開講しています。



# 緑で ふじえだ ひとつながり



## 藤枝総合運動公園

サッカー場・陸上競技場・野球場などがあり、スポーツと自然に触れ合うことができる公園施設。豊かな緑と花々に囲まれた気持ちのいい空間は、市民の健康づくりやレクリエーションの活動拠点となっています。



## 玉露の里

京都の宇治や福岡の八女と並び、日本三大玉露の産地として知られる朝比奈地区。本格的な茶室である「瓢月亭」では、本物の玉露や抹茶を気軽に味わえます。お食事処では、玉露や地元食材を取り入れた料理を味わうことができます。



## 蓮華寺池公園

周囲約1.5kmの池沿いに、春には桜や藤が咲き誇り、4月下旬から開催する「藤まつり」には多くの人が訪れます。ジャンボすべり台は子どもたちに大人気。四季を通して市内外から多くの人が集う、市のシンボルとなっている公園です。



## 市民の森・びく石

茶摘みに使う「びく」に似た巨大な岩があることから通称びく石（石谷山）と名付けられました。山頂からは駿河湾や富士山、南アルプスなどの眺望が楽しめます。芝生広場やビオトープも整備され、ハイキングや自然観察にもぴったりです。



## 滝ノ谷不動峡・磨崖仏

滝ノ谷川の上流にある峡谷。紅葉の名所としても人気のスポットです。峡谷の岩肌には、藤枝在住の彫刻家・杉村孝氏によって制作された、高さ10m、幅7mの不動明王坐像が刻まれています。



## スポーツ・パル高根の郷

平成15年のわかふじ国体のライフル射撃会場として開設。電子標的を設置し、国際大会も開催可能です。ライフル競技のほか、人工芝アリーナでは、テニスやフットサル、グラウンドゴルフも楽しめます。



## 宇嶺の滝

瀬戸川源流を水源とする落差70mの大きな滝で、東海の名瀑の一つに数えられています。しぶきをあげて落ちゆく水音は激しく、迫力満点。伝説にちなみ、別名「お君の滝」とも呼ばれています。



## 大久保キャンプ場・グラススキー場

初心者から上級者まで楽しめるグラススキー場。マウンテンボードやソリ遊びなどもでき、大自然の中で体を動かせば気分も爽快です。キャンプ場には、バーベキューハウスや宿泊コテージなどもあります。



## つたの細道公園

平安時代の官道「葛の細道」に続く遊歩道と、木和田川を中心とした親水公園です。広く美しい公園は、情緒たっぷり。夏にはホテルを、秋には見事な紅葉を楽しむことができます。

Fujieda stretches from south to north, with the northern tip bordering the Akaishi Mountains. The lush nature offers the ideal setting for the city's many recreational parks and sports facilities. Fujieda residents are active throughout the four seasons and good at relaxing both body and soul.



東海道のにぎわいを  
今に伝える、  
文化香るまち。



**岡部宿大旅籠柏屋・内野本陣史跡広場**  
天保7年(1836)に建てられた江戸時代の宿泊施設「大旅籠柏屋」。平成10年に国の登録有形文化財に指定されました。平成12年には歴史資料館として開館。平成28年に周辺一帯の整備が完了し、東海道岡部宿の歴史・文化を発信する拠点となっています。



**朝比奈大龍勢**  
岡部町朝比奈地区に伝わる伝統行事。戦国時代の狼煙を起源とする、巨大ロケット花火を打ち上げます。白い煙を上げながら大空に伸びてゆく勇壮な姿に、人々から歓声が上がります。2年に1度、10月に開催されます。



**明治のトンネル**  
藤枝と静岡をつなぐ宇津ノ谷峠は、昔から絵図や歌舞伎の舞台になるなど街道の名所。峠道には、明治37年に完成した煉瓦づくりのトンネルが残され、国の登録有形文化財に指定されています。



**田中城下屋敷**  
戦国時代に築かれた田中城の南東にあった下屋敷。江戸時代後期、藩主本多家の別荘として造られ、築山・泉水・茶室が設けられていました。現在は、ゆかりの建物や庭園を移築・復元。当時をしのぶことができます。

**志太郡衙跡**  
奈良・平安時代に設置されていた「駿河国志太郡」の役所跡で、国指定史跡。建物や門、道路などの跡のほか、「志太」と記された土器や木簡も出土しています。実物大に復原された建物も展示。資料館では古代の生活を学ぶことができます。

**千貫堤・瀬戸染飯伝承館**  
千貫堤は、大井川の氾濫から地域を守るために築かれた、江戸時代の堤防。伝承館では、東海道の名物といわれた「瀬戸の染飯」や、千貫堤の資料を展示するとともに、地元保存会による解説を行っています。



文化で ふじえだ  
ひとつながり



**藤枝大祭り**  
3年に1度開催される伝統の祭典。各地区から繰り出す14台の山車の曳き回しは勇壮で迫力満点です。また、山車前で披露される地踊りと長唄は、その規模・質において日本一と称されています。



**藤枝花火大会**  
8月7日の「花火の日」に蓮華寺池公園で開催。大正時代から行われている由緒ある大会です。全国有数の花火産地でもある藤枝が誇る約5,000発の花火が夜空を彩ります。蓮華寺池の水面に映る色とりどりの光も鮮やかです。



**滝沢八坂神社の田遊び**  
滝沢八坂神社に伝わる、300年以上の伝統を持つ神事。2月の厳寒の夜、五穀豊穡を願い、1年間の農作業を模擬的に演じた舞を奉納します。四隅に竹を立て、しめ縄を張り巡らせた舞庭で舞われます。



**藤まつり**  
蓮華寺池公園には、池の周囲をとりまく遊歩道沿いを中心に、市の花「藤」が250本植えられています。見事な花の房が風にゆれ、連なる藤棚から甘い香りが漂ってきます。毎年、4月下旬から藤まつりを開催しています。



**高根白山神社古代神楽**  
10月29日、高根白山神社の例大祭で奉納される、江戸時代までさかのぼる神楽。太鼓や笛の音色に合わせて舞が奉納されます。県無形民俗文化財に指定され、保存会により継承されています。



**金比羅山・瀬戸川桜まつり**  
会場となる金比羅山、瀬戸川周辺には、約1,000本の桜が植えられています。瀬戸川左岸堤に続く約2kmの桜トンネルは圧巻。毎年多くの花見客でにぎわいます。



**滝ノ谷不動峡 もみじまつり**  
木々が色づく秋。滝ノ谷川の upstream、清流が岩間をくねりながら流れていく峡谷は、美しく染め上げられます。11月下旬に開催するもみじまつりでは、地元の農産品の販売なども行われ、多くの人が訪れます。

Fujieda flourished as a post town on the Tokaido Road in the Edo period (1603–1868), and continues to host festivals based on traditional Shinto rituals today. The city invites visitors to tour the historic sites, experience the time-honored culture, and discover the classic attractions of Fujieda.



# ふじえだ ひとつながり 技あり！ 未来へつながる物語 ふじえだ生まれのいいもの図鑑



## 志太天神

江戸時代から伝わる職人の技。5月が新茶の季節と重なるため、男児も桃の節句に天神人形を飾って祝う風習があります。



## 藤枝桐箆笥

志太指物師が江戸時代より受け継いできた伝統の桐箆笥。耐久性に優れ、虫がつきにくい桐の特性を生かし、木目の美しさと、確かな品質で県外にも知られています。



## 藤枝花火

年間15万発もの花火を製造する、全国屈指の花火生産地。毎年多くの人でにぎわう地元の花火大会をはじめ、全国の花火大会で観客を魅了しています。



## 藤枝だるま

江戸時代からの伝統工芸。特徴は、8の字型の耳ぎわの髪「髻」。藤色やピンクなど色も豊富で、小泉八雲が愛したことから「八雲だるま」とも呼ばれています。



## 藤枝ハイボール

「居酒屋から藤枝を元気にする会」が企画。市の花「藤」をイメージした藤色のご当地ハイボール。焼酎ベースで、かばす・アセロラを配合。さわやかな甘酸っぱさが特徴です。



## 地酒

初亀、志太泉、杉錦、喜久酔。藤枝の地酒は、全国の品評会でも絶賛される逸品揃い。志太杜氏の伝統を守る若い後継者たちの新しい試みにも期待が集まっています。



## 朝比奈玉露

藤枝茶の中でも特徴的なのが、朝比奈地区の玉露。朝比奈川の川霧と山間の短い日照時間が育む最高級の茶葉。丹誠込めた濃厚な味と香りは高い評価を得ています。



## 藤枝茶

茶づくりに気候が適していた藤枝では、生産・加工・輸出と茶を取りまく産業が大きく発展。玉露・煎茶・紅茶・抹茶と種類も豊富で、全国で親しまれています。



## サッカーエース最中

サッカーのまち藤枝を象徴する銘菓「サッカーエース最中」。誕生は昭和32年。まんまるのボールの中にぎゅーあんこが詰まった、どこか懐かしいおいしさです。



## おかべ焼きそば

藤枝市のご当地グルメ。特徴は、玉露パウダーを練り込んだみどり色の麺です。特産のタケノコやシタケなど具だくさんですが、肉はなし。和風ダレで味付けしています。



## せとやコロッケ

# 伝統の技と新しい風。 ふじえだコレクション



## せとやコロッケの会

### 小林浩樹さん

行かないと食べられないご当地グルメ「せとやコロッケ」。おいしいのはもちろん、かわいいキャラクターも大人気です。路線バスにキャラクターをラッピングした通称コロバスも運行中。食育や観光など、中山間地域の活性化にも積極的に取り組んでいます。



東海道の宿場町として発展してきた藤枝には、昔ながらの伝統技術が現代にも引き継がれています。街道を行く人々に愛された藤枝だるまや桐箆笥、和紙、染飯、そして地酒。連綿と続いてきた豊かな時間と先人たちの想いが息づいています。

なかでも茶は、今も藤枝の名産品の筆頭。産地として、また集積地としての実績を礎に、誇りを持って未来へ伝えていく幹となる産業です。朝比奈の玉露は世界に知られるブランドとなり、藤枝かおりの誕生、藤枝抹茶スイーツの展開など、新しい挑戦が始まっています。

また、地域おこしと連動したグルメにも注目が集まっています。地元のものを使っています。たせとやコロッケは人気。3つを食べ比べに足を運んでみてはいかがですか？ぜひ、楽しい、おいしい、巧みな藤枝を体験してみてください。

This section introduces everything delightful, delicious, and fun about Fujieda, from crafts made with traditional techniques to the latest specialties. Local dishes are a great attraction, with a popular item being the Setoya Croquette, made with locally grown shiitake mushrooms and available in three flavors.





人が温かく、親しみやすい。



全国的にみてもレベルの高い  
4つの酒蔵のおいしい地酒！



海、山が近くにある  
食材が何でもそろふ。



おいしい藤枝茶！



大久保ガラススキー場やキャンプ場  
など自然を満喫できる施設がある！



サッカー好きが多く  
盛り上がってるまち！



四季を感じられる  
蓮華寺池公園。



子どもたちが安全に  
暮らせるまち。



子育て支援センターが豊富にある  
子育てしやすいまち。



駅周辺にどんどん新しい店  
ができて、変わっていく藤枝！



藤枝大祭りで皆が盛り上がる！



人があったかい。

# それぞれの物語が つながって まとまりあって 大きなひとつのふじえだに

市民の皆さんに  
聞きました

ずっとつなげていきたい藤枝の魅力、  
もっと広げていきたい藤枝のいいところって、何ですか？



交通アクセスが良く  
どこへ行くにも便利！



文化や歴史が感じられる  
落ち着いたまち。



気候が暖かくてスポーツにも最適！



毎年熱くなる全国PK選手権！



山といい街といい  
すべてがそろっているまち。



居酒屋がたくさんあって元気！



おいしい和菓子・洋菓子屋さんが  
たくさんある！



サッカーで元気なまちの  
旬の食材が豊富にある。



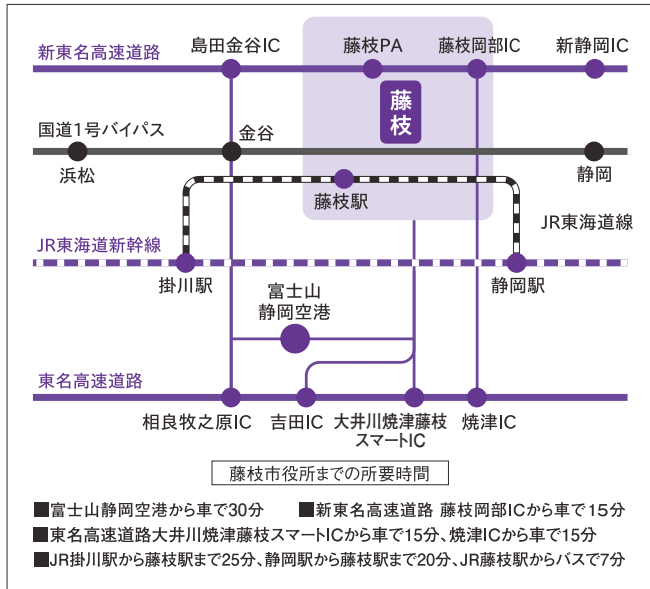
東海道の歴史を感じる  
ところが残っている。



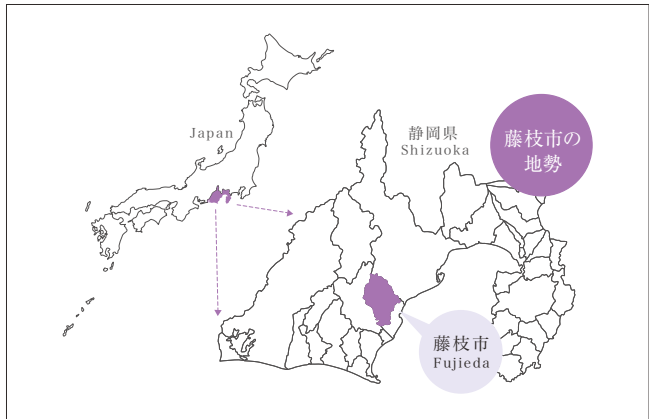


人口 146,531 人  
世帯 57,879 世帯  
面積 194.06km<sup>2</sup> 平成 28 年 12 月 31 日現在

## アクセス



## 地勢



平成 21 年に旧岡部町と合併した藤枝市は静岡県のほぼ中央、静岡市の西に隣接しています。南北に長く、北部は赤石山系の南端に接し豊かな緑に恵まれています。山間部から流れる瀬戸川に沿って広がる志太平野に、市街地が形成されています。古くから東海道の宿場町としてにぎわい、現在も東京と名古屋の中間に位置する交通の要衝となっています。

## 交流都市



**姉妹都市提携**  
**オーストラリア・ペンリス市**  
シドニーの西 55km に位置する、人口約 21 万人の都市。ブルーマウンテンの麓、自然豊かなネピアン川の流域にあり、オーストラリア産米を使った日本酒の生産も行われています。昭和 59 年から国際感覚の向上と、国際理解を深めることを目的に交流が始まりました。



**姉妹都市提携**  
**韓国・楊州市**  
ソウル市の北隣に位置する、人口約 21 万人の都市。ハイキングコースや景勝地へ韓国国内から多くの人々が訪れます。教育や歴史・文化などを重点政策に掲げ、産業などの発展が目覚ましく、平成 21 年、富士山静岡空港の開港を契機に交流が始まりました。



**親善友好都市提携**  
**石川県白山市**  
石川県中央部に位置する、人口約 11 万 3 千人の都市。自然豊かな地域特性を生かした海水浴やウィンタースポーツなど多くの観光資源のほか、米や地酒に代表される多くの特産品が有名です。昭和 58 年、旧松任市との友好都市提携から交流を続けています。



**友好都市提携**  
**埼玉県深谷市**  
埼玉県北西部に位置する、人口約 14 万 5 千人の都市。市内各地で赤レンガの建物を見ることができます。また、「深谷ねぎ」は全国ブランドとして認知されています。深谷市と合併した、旧岡部町と本市旧岡部町との友好都市提携を契機に交流を続けています。



**友好都市提携**  
**沖縄県宮古市**  
沖縄本島から南西方向約 300km に位置し、大小 6 つの島で構成された人口約 5 万 4 千人の都市。エメラルドグリーンの海に囲まれ、マリンスポーツの地として有名です。特産品も多く、全国から多くの観光客が訪れます。平成 23 年、もずくを活用した産業連携から交流が始まりました。



**友好都市提携**  
**北海道恵庭市**  
札幌市と新千歳空港のほぼ中間に位置する、人口約 6 万 9 千人の都市。恵庭溪谷には「白鳥の滝」「ラルマナイの滝」「三段の滝」などが点在する観光スポットが、また、ガーデニングのまちとして、市民主導による花のまちづくりが盛んです。産業交流や災害時相互応援協定の締結を経て、平成 28 年に交流が始まりました。



**ゆかりの郷提携**  
**岐阜県恵那市**  
岐阜県の南東部に位置する人口約 5 万 2 千人の都市。豊かな自然があり、中山道の宿場町や 800 年の歴史を持つ女城主の城下町など、歴史的な観光地として多くの人々が訪れます。江戸時代、市内横内に岩村藩の領地があったことから、平成元年、旧岩村町とゆかりの郷として交流が始まりました。



**スポーツ・文化交流都市提携**  
**福岡県福岡市**  
人口約 155 万 6 千人で、東アジア周辺地域とも積極的な交流を行う九州最大の都市。九州の行政・経済・文化・教育・ファッションの中心です。サッカーチーム藤枝ブルックス（現・アビスパ福岡）の本拠地移転が縁で平成 7 年に交流が始まりました。

Fujieda is situated in the center of Shizuoka Prefecture, offering convenient access to its home on the Shida Plain stretching along the Setogawa River. The lush nature and mild climate give the residents a sense of ease and make them cheerful. The city emblem of the wisteria stands for “you are welcome here.” The city and residents of Fujieda promise a delightful experience for visitors.



# 真に「選ばれるまち」藤枝へ 新たな物語が始まります

藤枝市長 北村正平

藤枝市は、昭和 29 年 3 月に市制を施行して以来、先人たちのたゆみない努力により発展してきました。現在は、私たちの世代がそのバトンを受け継ぎ、藤枝に関わるあらゆる人がつながり、まちの「宝」をさらに磨き、魅力あふれるまちづくりを進めています。

住んでみたい、そして住み続けたいと思っ  
ていただけるような、「選ばれるまち」藤枝  
となること。そして、誰もが生涯にわたり幸  
せを感じながら、元気に生き生きと暮らし、  
「藤枝に住んでよかった」と実感できるまち  
であること。これが私の願いであると同時に  
に、その実現が責務であると感じています。

本市が進める、生活の基本となる健康・教  
育・環境・危機管理の頭文字をとった「4 つ  
の K」の取り組みをさらに加速させるととも  
に、ICT の活用など未来を見据えた各種施  
策を展開し、「ひと」と「まち」が元気な活  
気あふれる、真に「選ばれるまち」藤枝を築  
いていきます。

これから始まる、藤枝の新たな物語。その  
主役は、藤枝を愛する皆さん一人一人です。  
共に手を取り合い、藤枝の輝く未来を開いて  
いきましょう。

The beginning of a new story toward a truly chosen Fujieda.  
Fujieda was reorganized as a city in March 1954, and followed a path of steady development thanks to the dedicated efforts of past residents. The baton is passed on to Fujieda residents today. We draw on connections between people to nurture Fujieda into an attractive city. My wish is to see Fujieda be a place where people choose to live and build their lives, and where all residents feel happy, vibrant, and at ease, and can look back and say they are glad they chose to live here. Making this personal wish come true is also my responsibility as mayor. To this end, I will work to further the city's efforts in 4K—the basics of daily life comprising kenko (health), kyoiku (education), kankyo (environment), and kiki-kanri (crisis management)—while promoting initiatives looking to the future, including the use of information and communications technology, toward growing Fujieda into a truly chosen city where residents and communities are full of life and energy. The lead characters in the story about to unfold are the residents who share a love for the city. I hope to join hands with the residents and together build a brilliant future for Fujieda.

## 市章



市の花である藤の花をデザイン化。高潔な藤の花の品格を手本に、永遠に汚れない清潔な市としての躍進と発展を願い制定されました。

## 市民憲章

わたくしたちは藤枝市民であることに誇りをもち、健康と安全を増進し、教育と福祉の充実に努め、文化や産業を向上させて、限らない発展と平和を築くようこの憲章を定めます。

一、恵まれた自然を大切に、美しいまちをつくりましょう。

一、丈夫なからだをつくり、活力あるまちをつくりましょう。

一、豊かなこころを育て、明るいまちをつくりましょう。

一、温かい家庭をきずき、住みよいまちをつくりましょう。

一、仕事にはげみ助けあい、伸びゆくまちをつくりましょう。

## 市の木 松 マツ



## 市の鳥 鶯 ウグイス



## 市の花 藤 フジ

